

農学部

学部のアドミッション・ポリシー(AP: 入学者受入の方針)

<求める入学者像>

農学部は、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給、生命機能の解明と生物資源の利用、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関する様々な問題を解決し、自然と共生する持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題の解決に熱意をもち、主体性と多様な能力をもった学生を求めます。そのため、一般入試に加えて、学校推薦や自己推薦などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、農学部は次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・理解)

1. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。
2. 次のいずれかに該当する。
 - A. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの課題を解くことができる。
 - B. 農業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲、態度)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

(技能・表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

<入学者選抜>

前期日程、後期日程、推薦入試Ⅰの他、特別コースではAO入試Ⅱを採用し、高等学校等において修得した基礎的な知識・技能、それらを活用する能力、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度などを、多面的・総合的に評価する入学者選抜を行います。また、留学生に対しては渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試を採用し、多様な属性をもつ意欲ある学生に対して門戸を開きます。

学部のカリキュラム・ポリシー(CP: 教育課程編成・実施の方針)

<教育内容>

各学科で食料、生命、環境に関する専門知識と技術を習得するにあたって、農学に関する広範で俯瞰的な知識と技術も同時に必要不可欠であるという考え方から、学部共通科目として、必修7単位、選択9単位の授業科目を開講しています。また、2年次よりコースに所属しますが、学科共通の授業科目も開講しています。また、1年次には農学実習を必修とし、各学科の知識を深めるとともに技能技術の基礎を身に付けます。さらに、卒業論文の開始時期を3年次後期とし、デザイン能力を修得します。

<教育方法>

講義形式の授業だけでなく、実験・実習等のアクティブ・ラーニングを取り入れます。また、すべての授業において授業時間外の学習を含む十分な学習時間を確保します。

<教育評価>

すべての授業において客観的な評価基準(試験、レポート等)に基づいて厳格な成績評価を行います。

学部のディプロマ・ポリシー(DP: 卒業認定・学位授与の方針)

<学部の教育理念と教育目的>

農学部は、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給、生命機能の解明と生物資源の利用、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関する専門知識・技術を修得させ、地域的な視点と国際的な視野から食料、生命、環境に関する様々な問題を解決し、自然と共生する持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成することを教育理念とします。

また、農学領域における様々な研究及びそれらの成果を基に、食料、生命、環境に関する専門的知識・技術を学生に修得させ、自然と人間が調和する循環型社会の創造に貢献できる専門職業人や技術者を養成することによって、地域社会や国際社会における産業の発展と文化の進展に貢献することを目的とします。

<育成する人材像>

愛媛大学の基本理念に基づいて、「学生中心の大学」として学生の多様な志向性を尊重した農学教育を提供することにより、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給、生命機能の解明と生物資源の利用、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関する様々な

問題を解決し、自然と共生する持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成します。

(知識・理解)

生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給、生命機能の解明と生物資源の利用、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関するいずれかの専門知識と技術を修得している。

(思考・判断)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関連する諸課題の原因を論理的に説明でき、解決策を見出すことができる。

(興味・関心・意欲、態度)

上記の諸課題を解決するため、主体性、協調性および高い倫理性をもって、自律的・継続的に行動することができる。

(技能・表現)

自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。

<卒業認定・学位授与>

愛媛大学に4年以上(学士2年次編入生では3年、3年次編入生では2年以上)在学し、農学部規則に定められた単位数を修得した学生に対して、卒業を認定し学士(農学)の学位を授与します。